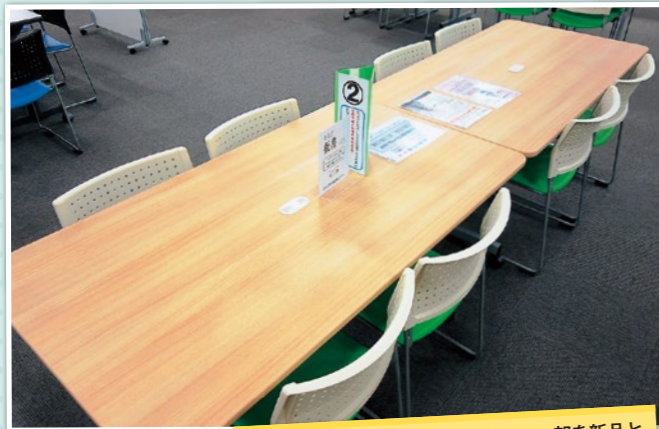


フリースペースがパワーアップしました!



フリースペースのイスやテーブルの一部を新品と交換しました。



各テーブルにホワイトボードを設置しました。ホワイトボードマーカーとイレイサーは、受付でお貸しします。

ホワイトボードを使えば、会議が“元気”になる!

～板書のススメ～

ポイント1 会議の進行状況や結論を可視化できる

議題や発言の要旨を書いていくことで、いまだんな議題を話し合っていて、どんな意見が出て、どんな結論になりつつあるかが可視化できます。また、議論の過程や振り返りにも使えるので、写真で撮ればそのまま会議録にもなります。

ポイント2 意見やアイデアがどんどん出て、会議が活性化される

意見やアイデアをどんどん出してもらいたい時、出た意見をホワイトボードに書き出せば、それを見て、さらに違った発想が湧いてくることあり、停滞していた会議が活性化します。



2019年
初夏号 (通巻No.284)

ナンバーゼロ



INDEX

目次

- P2 助成金の「メリット」とは
- P3 こぶんたが行く! わくりんが行く!
- P4 フリースペースがパワーアップしました!

組織基盤強化フォーラム開催

NPOのミッション達成に向け、活動や事業を発展させるためには、メンバーの情報共有や広報や会計など、組織(NPO)の基盤強化が大切です。組織の“ありたい姿”と“現在の姿”とのギャップとその原因を探り、その課題解決を図るNPO自身の取り組みが「組織基盤強化」です。とはいえ、自分の団体に何が必要か、なかなかわからないものです。かわさき市民活動センターでは、組織基盤を強化したいNPOのための「組織基盤強化フォーラム」を下記日程で開催します。

日時 6月16日(日) 13:00~17:00

会場 かわさき市民活動センター 会議室・フリースペース

相談無料 **入退場自由**

第1部 13:00~14:15(予定)

「組織基盤強化助成」公開事業報告会

過去の事例を知る

2018年度に組織基盤助成を受けた13団体が、成果発表を行ないます。

第2部 14:20~17:00

「非営利組織のための支援サービス展示会」

組織基盤強化のためのサービスを知る

- ① 支援サービスを行なう団体・会社の展示及び体験・デモンストレーション
- ② 支援サービスを行なう団体・会社のプレゼンテーション
- ③ 市民活動団体からの相談受付および商談



2ページに
続きます

予告

かわさき市民活動センターの
**ボランティア・市民活動のための
パワーアップセミナー**

会場: かわさき市民活動センター会議室

●6/22日 13:30~16:30

知っておきたい「広報」のこと
~「伝えたい人」に「伝える」ためのコツ~

講師 ○谷浩明さん
東京都杉並区広報専門監・コミュニケーションデザイナー

●7/27日 13:30~16:30

人が集まる・伝わるチラシの
基本(仮)

講師 ○並木節子
(公財)かわさき市民活動センター市民活動推進課職員

見て、聞いて、
楽しんで、かわさきの
市民活動を知ろう!

9月開催

ごえん楽市

(かわさきボランティア・市民活動フェア)

今年度は、かわさき市民活動センター・中原市民館で2019年9月21日(土曜日)に開催します。

2018年度 集めて支援・募金御礼

(集めて支援)	(募金箱)
未使用切手の寄付 23,705円	川崎信用金庫 66,693円
書き損じハガキを切手に交換 6,236円	フィッシング中原 996円
使用済み切手・カードを販売 4,000円	受付窓口 20,342円
本・CD・DVDなど(ブックオフオンライン) 6,798円	
計40,739円	計88,031円
合計128,770円	

ご支援、ご協力ありがとうございました。

ご案内 MAP



ナンバーゼロ 2019年初夏号(通巻No.284)

【編集・発行】

公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課

〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12

電話: 044-430-5566 FAX: 044-430-5577

メール: suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp

WEB: http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/



Facebookでも情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/kcac.suisin/>



ポータルサイト「応援ナビかわさき」
<http://kawasaki.genki365.net/>

◆2019年春号は、7名の発送作業ボランティアの方にお手伝いいただきました。

知ろう!助成金の「メリット」「デメリット」

助成金は、新しい事業にチャレンジする際、または既存の事業を大きくしたい際の原資として役立ちます。

団体が助成先となると、助成元のWEBサイトで紹介してもらえる、あるいはイベント等で発表できる、といった広報の機会を得ることもできます。

助成元にとっては、その助成先団体を採択した責任、助成元を支援してくれる人たちへの責任として、助成事業を成功させることに責務を負っています。そこで助成が適正に申請されるか、事業が申請通り行われているか、助成元の担当者は事業の進捗をチェックしますので、結果、団体の信用度が増すメリットもあります。

「事業継続のために」

助成は数年で終了することが一般的であり、助成金は初期投資を受けると考え、それを元手にして立ち上げた事業、拡大した事業を、助成終了後にいかに継続していくのか、あらかじめ考えておく必要があります。

参考文献 徳永洋子著「非営利活動の資金調達ハンドブック」2017年3月



助成金の「注意点」

助成金は、申請書に書いた予算の項目と金額が制限された資金です。「事業助成」の場合、人件費、家賃などは助成の対象にならないことが、一般的です。事業を実施するために、想定外の費用が発生し、資金繰りに苦労してしまう事例も見受けられます。事業予算をきちんと立てることに加えて、助成金請求に盛り込めない出費もきちんと予測しておかなければなりません。

助成金の多くは、精算払なので、申請事業に必要な資金をあらかじめ用意する必要があります。また、事業の延長が認められるケースは、ほとんどありません。「事業期間」「報告書の提出期限」は、助成元のルールで設定されており、事業が終了していなくて、助成金をもらえなかったり、当初の事業目標を達成できないような結果に終わってしまわないよう、詳細かつ余裕ある事業実施計画を立てなければなりません。

資金を単年度で使い切るという助成金の性格から、その後の事業継続が困難になることも考えられます。事業を実施したけれど、次年度から助成金がないので、事業を終了せざるを得なくなることもあり得ます。

かわさき市民公益活動助成金は事業助成です。

かわさき市民公益活動助成金 2018年度公開事業報告会

2019年4月7日(日)にかわさき市民活動センターで開催しました。



フリースペースも会場になりました。



審査委員のみなさんも事業成果に聞き入っています。



公益活動助成金を使った事業
「地域をつなぎ学びあうおと絵がたり出前公演と体験会」
を行なった おと絵がたり代表 加藤妙子さん

2018年度 助成を受けて

わたしたちは、地域の昔話をオリジナルの絵や絵巻を音楽と語りで上演している団体です。

3回シリーズで、本公演では上演できない絵巻の鑑賞会と、団体独自の手法を使った上演体験とワークショップを行ないました。出張公演は、方針や予算もクライアントによって左右される状況でしたが、上記事業を通し、賛助会員が約2倍に増え、本公演も満席にすることができました。

助成金申請を通して、活動の将来像について、メンバーで共有することができたと思います。

川崎市からのお知らせ NPO法人実務基礎固め講座を開催します

- 概要** 各種届出や、書類作成など必要な事務について、法人等の事務作業を裏方として支える活動をしているNPO法人から講師を招き、実践的に学べる講座です。
- 日時** (1回目)2019年7月10日(水) 14:00~16:30
中原市民館 第1会議室
(2回目)2019年7月12日(金) 18:00~20:30
かわさき市民活動センター 会議室
※全2回(どちらも同じ内容で開催)
- 定員** 各回30名まで
※先着順、予約制、2019年5月20日(月)から受付開始、各法人2名まで
- 申込方法** 窓口で直接、電話、FAX、川崎市ホームページのメールフォーム
※FAXでお申し込みの場合は、①お名前②法人名③参加人数④電話番号を必ずご記入ください。
※配慮が必要な方は6月10日(月)までにお申し込みの上、別途ご連絡をお願いいたします。
- 申込み問合せ** 川崎市民文化局コミュニティ推進部市民活動推進課
電話044-200-2341 FAX044-200-3800
川崎区駅前本町11番地2 川崎フロンティアビル7階
川崎市HP「NPO法人 関連」で検索
- 対象** 事務所を川崎市内にのみ置くNPO法人で運営実務に携わる職員、スタッフ



「加瀬っこ工房プレミアム バネの科学」



2019年3月22日(金)、南加瀬こども文化センターと夢見ヶ崎小学校わくわくプラザの合同行事として「科学実験教室くじら」を講師に招き、『加瀬っこ工房プレミアム バネの科学』を開催しました。

子どもたちは科学実験と聞いて、はじめは少し難しそう顔をしていましたが、真剣に実験や工作に取り組んでいました。講師からの「みんな身の回りにはどんなものがあるかな?」との問いかけに「公園の動物の乗り物」「家や自転車の鍵をつけるキーホルダーにもついているよ」と積極的に手をあげて答える姿が見られました。

参加した子どもたちからは、「バネにはいろんな形があって、自分たちの気が付かないところで使われていることに驚いた」など感想があがり、「科学の実験をするときは参加したい」と目を輝かせていました。

当財団では、今後も地域に貢献できるような様々な活動を継続して行い、子どもたちの世代間交流や情操の教育に積極的に取り組んでまいります。

バネにもいろんな種類があるんだね! 知らなかった!!



※こぶんたは、当財団が管理運営するこども文化センター52施設のキャラクターです。※わくわくは、当財団が管理運営するわくわくプラザ101施設のキャラクターです。